

登録コード	J5120300	開講年度	2026			
授業科目	経済学演習Ⅱ				担当教員	
英文授業名	Seminar in Economics Ⅱ				副担当	
単位数	4	講義期間	通年	曜日・時限	・	
講義室			授業区分	演習	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】
	経法23初（2026改）・応用経済，経法23初・応用経済					
	専門知識を応用・実践する力として，計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価，実験経済学による社会制度の機能の検証，医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘，法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証，などのスキルを習得し，経済の実情に即した政策提言，あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。				⇔	専門知識を応用・実践する力として，自身が学ぶ経済学分野における評価・検証などの応用的なスキルを習得し，経済の実情に即した政策提言，あるいは企業行動の決定などを行うことができる能力を身につけることができるようになる。
	【2020年度以降カリキュラム対象】専門領域での基礎知識として，経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして，経済理論の応用分野として，金融，公共政策，法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで，専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。				⇔	専門領域での基礎知識として，また，問題解決に実践する力として，自身が学ぶ経済学分野に基づく論理的思考法及び応用的な統計分析手法，そして，専門知識を具体的な問題解決に導く能力を身につけることができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本演習は，各回の担当者による報告と質疑応答を中心に進める。報告のテーマや形式などに関する詳細は開講後に指示する。					
(5)授業計画	初回に履修上の注意などを確認した上で，各回のテーマに関連した報告，および質疑応答を行う。報告のテーマは担当教員の専門分野や受講生の希望などを踏まえた上で，経済・経営に関する応用的な問題から選択される。 最後に授業アンケートを行う。					
(6)成績評価の方法	報告内容や議論への参加状況，演習論文など担当教員が指定した成果物の内容を踏まえて総合的に判断する。配点は初回授業で連絡する。					
(7)成績評価の基準	(1)問題の設定が適切であり，(2)その問題の背景を説明できており，(3)その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(4)それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており，(5)その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」，(1)から(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば，「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	報告に際しては十分に準備をするとともに，各回のテーマについて予習をして臨むことが求められる。					
(9)履修上の注意	関連する科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。また，原則として欠席は認めない。やむを得ない事情がある場合には必ず事前に連絡すること。					
(10)質問,相談への対応	演習中に随時受け付ける。					
【教科書】	開講後に指示する。					
【参考書】	開講後に指示する。					